(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5年 6 月 12 日

山口県知事 殿

提出者

住 所 山陽小野田市日の出三丁目8番30号 氏 名 ヘキムラ興業 株式会社 代表取締役 碧村 宗憲 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 (0836)84-7311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

 事業場の名称
 ヘキムラ興業株式会社

 事業場の所在地
 山陽小野田市日の出三丁目8番30号

 事業の種類
 総合工事業

 産業廃棄物処理計画における計画期間
 令和4年4月1日~令和5年3月31日

## 産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	4,910 t	全処理委託量	4,910 t
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,385 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	4,805 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
〈事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

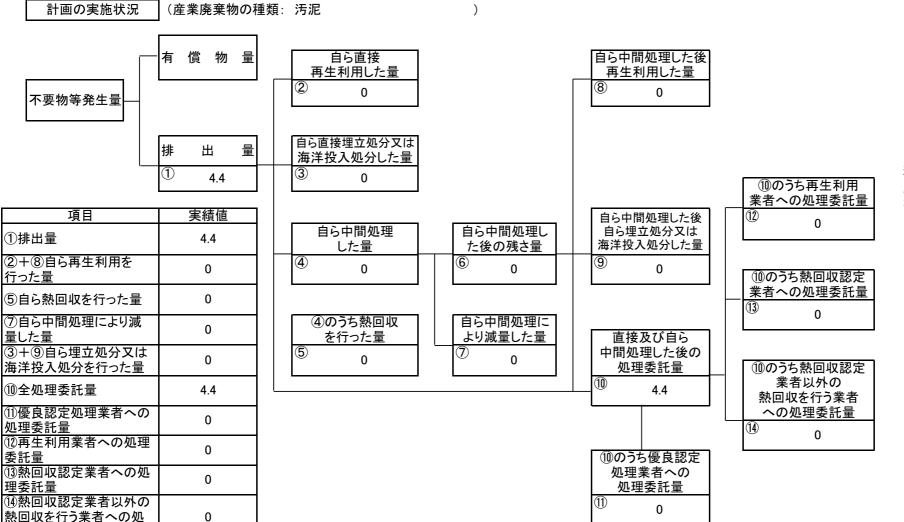
## 多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書(令和4年度実績)

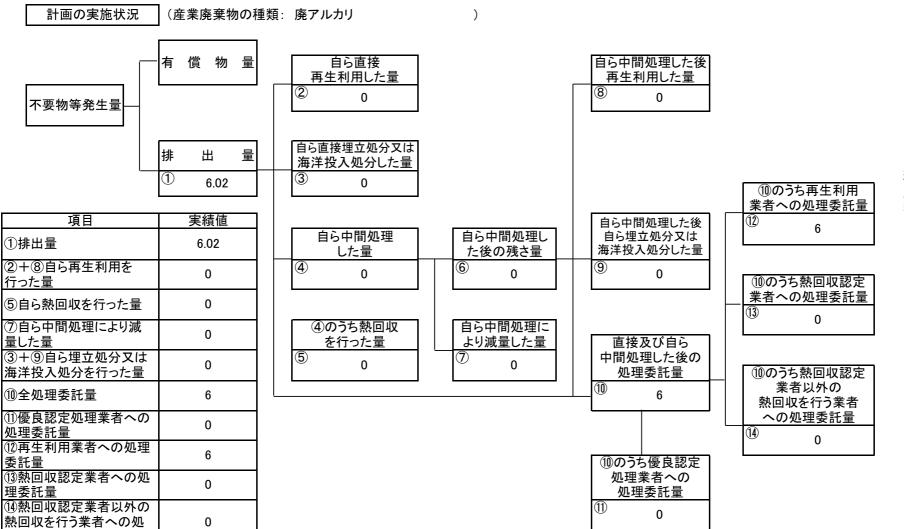
多量排出事業者 名 称 ヘキムラ興業株式会社	所在地(市町名)	山陽小野田市	事業の種類	総合工事業	I
------------------------	----------	--------	-------	-------	---

						81	画の実	施 状 :	2															
区分	種	類	①排出量	② 自ら直接再生 利用した量	③ 自ら直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量	新 ④ 自ら中間処理した量	⑤ ④うち熱回収 を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理に より減量した量	<ul><li>⑧ 自ら中間処理した後、再生利用した量</li></ul>	<ul><li>⑨ 自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量</li></ul>	⑩ 直接及び自 ら中間処分し た後の処理委 託量	⑦ ⑩のうち再 生利用業者へ の処理委託量	処分委託先が	処分委託先が 山口県外	値のうち中間 処理業者への 処理委託量	処分委託先が	処分委託先が 山口県外	①のうち最終 処分処理業者 への処理委託 量	処分委託先が	処分委託先が 山口県外	① ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	③ ⑪のうち熱 回収認定業者 への処理委託 量	(4) (他のうち熱 回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者へ
	燃え殻											0	0	)	E-wor	0	E-2017	д-ж	0	)	E-2007			のだ性女に生
- 1	汚泥		4									4	0			4	4		0					
- 1	 廃油											0	0			0			0					
- 1	廃酸											0	0			0			0					
	廃アルカリ		6									6	6	4	2				0					
	廃プラスチック類	i	16									16	0			10	10		6	6		16		
業	紙くず		5									5	0			5	5		0			5		
	木くず		239									239	239	239		0			0			239		
	繊維くず											0	0			0			0					
廃	動植物性残さ											0	0			0			0					
迚	動物系固形不要	物										0	0			0			0					
	ゴムくず											0	0			0			0					
	金属くず		19									19	0			0			19	19		19		
棄	ガラスくず、コンクリ 陶磁器くず	リートくず、										0	0			0			0					
	鉱さい											0	0			0			0					
- 1	がれき類		3,041									3,041	2,943	2,943		88	88		10	10		98		
44	動物のふん尿											0	0			0			0					
- 1	動物の死体											0	0			0			0					
- 1	ばいじん											0	0			0			0					
	13号廃棄物											0	0			0			0					
	計	(A)	3,329	O	C	0	0	0	0	C	0	3,329	3,187	3,185	2	108	108	(	34	34	0	376	0	

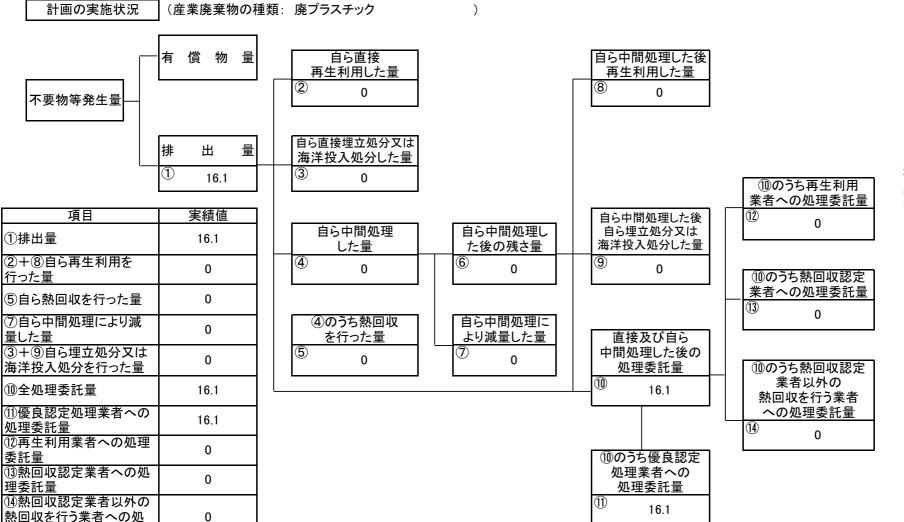
実 績 値													
①排出量		⑤自ら熱回収 を行った量		③+9自ら埋立 処分又は海洋 投入処分を 行った量	⑩全処理委託 量	①優良認定処 理業者への処 理委託量	①再生利用業 者への処理委 託量	(3熱回収認定 業者への処理 委託量	<ul><li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
4	0	0	0	0	4	0	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
6	0	0	0	0	6	0	6	0	(				
16	0	0	0	0	16	16	0	0	(				
5	0	0	0	0	5	5	0	0	(				
239	0	0	0	0	239	239	239	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
19	0	0	0	0	19	19	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
3,041	0	0	0	0	3,041	98	2,943	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	(				
3,329	0	0	0	0	3,329	376	3,187	0	(				



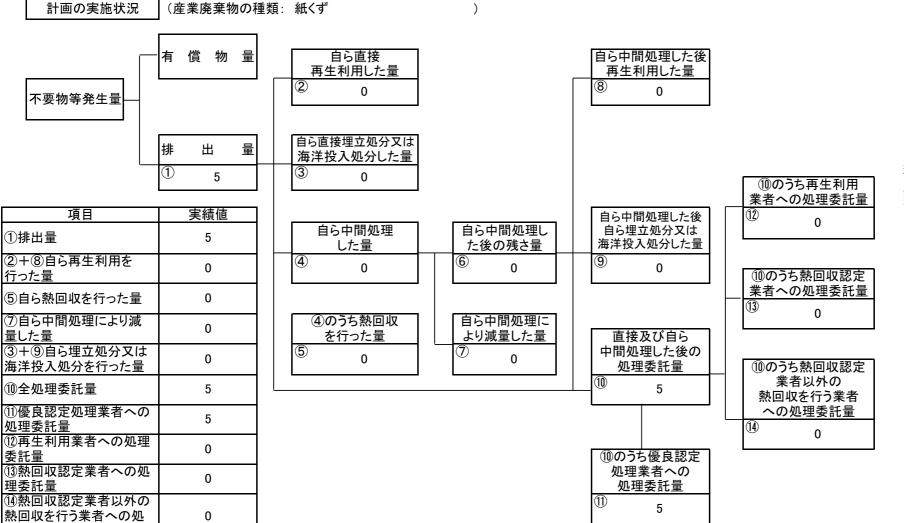


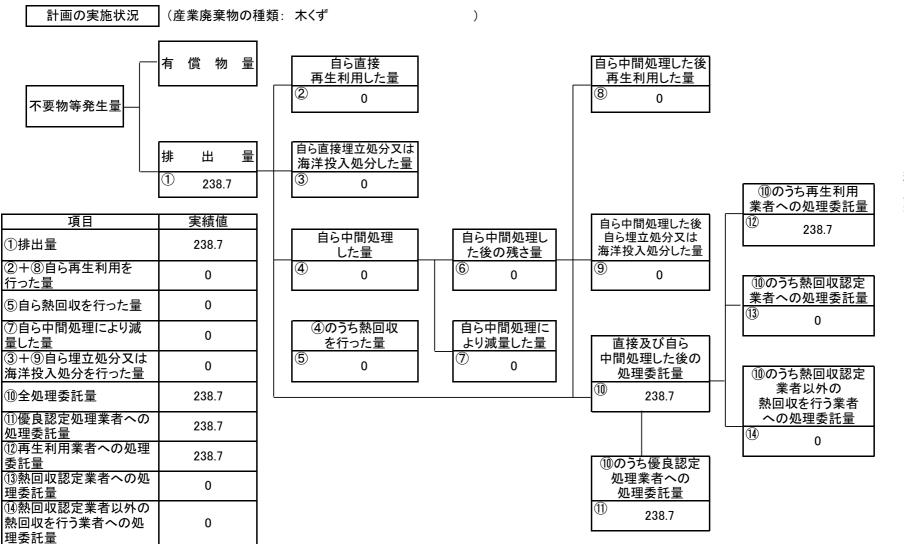




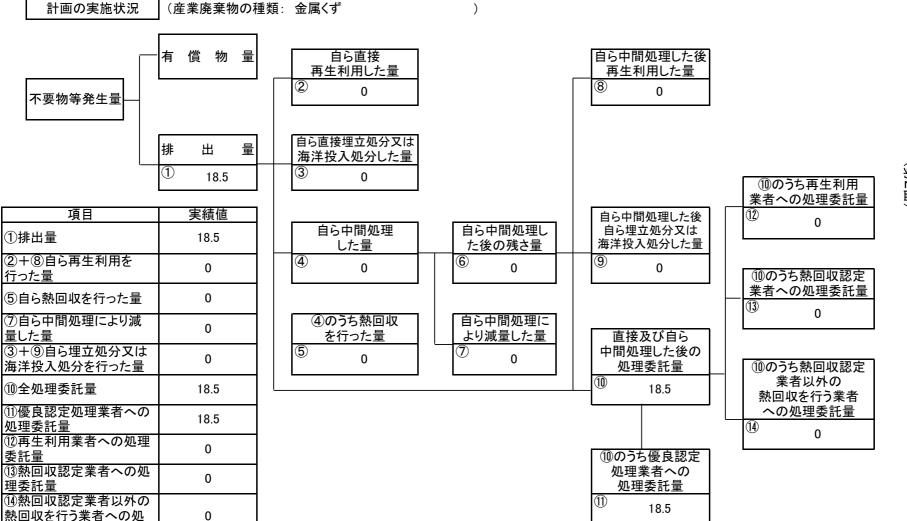




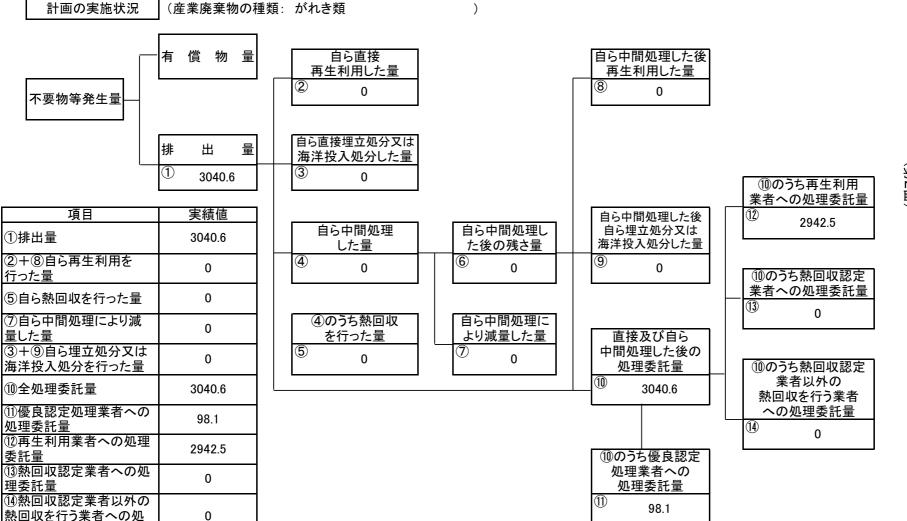












## 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14) に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄(4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄(4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ③欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ① (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。